

2008.2.20(水)
教務・学務WG

平成 19 年度後期「学生懇談会(2/20)」の報告

1. 日時:2008 年2月 20 日(水)16:02~17:12.
2. 場所:東棟会議室。
3. 出席者:

【教員】(6名;学科長+教務学務WG):

安原(学科長、3年)、小柳(WG長)、小峯(M2、WG)、金(2年、WG)、
桑原(WG)、井上(世話役、学生委員、WG)。

【学生】(12名;内、留学生1名、女子1名)

学年別内訳: M2: 4名, M1: 1名, 4年:3名, 3年:3名, 2年:1名

4. 主な意見・要望と教員らの応答:

[1] 前回議事録の紹介:

話を切り出しやすいように、WG長より前期懇談会(H19.8.8)の議事録の紹介があり、その内
生協食堂について、ムスリムの留学生より、pork(豚肉)を食べられないことからメニューに pork
と英語を併記して欲しいとの要望が出された件で、WG長から生協の理事に申し入れたところ、
「検討する」との回答を得たとの報告があった。

[2] 仮配属:

- ・2年次くらいから早めにやった方が良い。本学科は幅が広く色々な分野があるので、配属前
の期間が長い方が面白い→(教員)2年次生を受け入れる場合、物理的なスペースの問題
がある。3年次後期からを3年次前期からにするとか。
- ・インターンシップのように(夏休みに2週間とか)短期間、研究室に行けると良い。現行では一
つの研究室しか体験できないので、他の研究室と比べられず、本配属時によく分からない。
2つ以上の研究室を見たい。
- ・各研究室の様子を知るため、週一回、各研究室の発表を(共通棟の)100番教室でやるなど
して全員が聞けるようにして欲しい。
- ・3年前期と後期に一つずつの研究室を体験してから本配属に入りたい。

(各研究室のメンバーや、やっていることを認識するのはいつごろか?)

- ・2年になって、日立に来てから。3年になると、何人入れるかなど詳しいことが分かってくる。
- ・授業中に、先生の(専門に関する)小話を聞き面白いと思った。

(2年次からとか、早くスタートするとき何を知りたいか？ 研究の中身か、先生のプライベートのところか？)

- ・ 2～3年次では、自分の希望がこれだというのが分からない。先生は(自分の専門とは必ずしも一致しない)授業のイメージしかない。その先生、その研究室でやっていることを知らせ、どこに行ったらよいかのきっかけを2年次くらいから作って欲しい。→(教員)授業で教えている基礎は重要。文系的な卒論は別だが、工学ではそんなに甘く美味しいものではない。基礎を疎かにしては、結局中途半端に終わる。
- ・ (留学生)2年次では講義(日本語)の50%くらいしか理解できない。3年次後半になって、80%くらい理解できるようになる。→(教員)我々が海外に留学した場合も、言葉が分からなくてもどんどん置いて行かれる。(日本語は)一所懸命やってもらわなければならない。

(教員から留学生へ) 課題自体が何か分からないときはどうやって解決するか？

→日本人の友達に聞く。

(友達付き合い)

- ・男女が係わることは無い。
- ・大人数で集まることは無い。
- ・クラス内で、座る位置によって5グループくらいに分かれている。

(2年次と3年次で交流があるか？)

- ・サークル関係での交流くらい。→(他の学生)都市システム工学ゼミナールを半期5テーマ×2期やれば各研究室のことが分かる。
- ・先輩ともっと仲良くなりたい。教科書を貰えたり、就職、研究の話聞ける。→(教員)上下の学年で仲良くすることは学科の力になる。インターンシップの依頼先も、人間関係が元になっている。
- ・無理やりソフトボール大会などで2、3年次をくっつけようとしてもかえって面倒くさい。

(同窓会をどう考えるか？)

- ・必要性を感じない。mixi(ここでは、卒業した人が書いてゆく日記の意味)を見れば会う必要はない。
- ・(院生・高専編入)先生との距離が遠い。2年生は学科棟に入りにくい。少人数授業などで、できるところは学科棟で授業して欲しい。

[3] 駐車場:

- ・バイク置き場が守衛所近くにしか無いので、学科棟近くに移して欲しい。→(教員)生協前を通らなければならないので、危ない。

- キャンパスの中心である図書館前の自転車置き場が小さいので、広くして欲しい。そこに停められれば、各建物へのアクセスが良くなる。

最後は、世話役が「出された要望をできるだけ今後に生かしたい」と述べて閉会した。

(文責・井上)